

令和元年度市民対話集会（第1回）

- 1 日 時 令和元年7月12日（金）午後7時～午後8時30分
- 2 場 所 勤労青少年ホーム
- 3 参加者 本竜王地区自治会合同会議（竜王一・二・三・四区）39人
- 4 対応者 保坂市長、輿石副市長、三澤教育長、小田切企画政策部長
- 5 説明員（担当部署） 小林建設産業部長、小宮山建設課長、中村建設総務係主任
樋口教育部長、飯沼生涯学習文化課長、大島文化財係長
- 6 事務局 丸山秘書政策課長、大木総合政策係長、山本
- 7 対話テーマ 「本竜王地区の未来展望 ～空き家・空き地対策と歴史展望～」
- 8 内 容
 - 当番区長あいさつ
 - ・本日の対話集会で得た内容を今後の目安・指針としていきたい。

 - 市長あいさつ
 - ・本竜王地区の対話集会は旧竜王町時代から続く伝統のある集会であり、市政に対して意見交換を行う貴重な機会である。
 - ・本日は「本竜王地区の未来展望～空き家・空き地対策と歴史遺産～」をテーマに地域の課題と魅力について対話させていただく。
 - ・近年管理の行き届かない空き家は増加しており、全国的にも山梨県は空き家率が高い傾向にある。
 - ・本竜王地区は歴史遺産が多く残されており非常に優れたまちである。
 - ・みなさまにはテーマに沿った前向きで建設的な意見をいただきたい。

 - 対話集会「本竜王地区の未来展望～空き家・空き地対策と歴史展望～」
 - （1）空き家・空き地対策（資料をもとに建設課長より説明）
 - ・甲斐市では平成27年度に自治会の協力を得て空き家の実態調査を行った。平成30年8月現在の空き家は1,077件であり、本竜王地区は36件である。
 - ・市では相談窓口を建設課に一元化し、甲斐市空家等対策協議会の発足、空き家バンク制度、空き家管理事業の促進などの対策を実施している。
 - ・法律により、倒壊の危険性や衛生上有害となる恐れがあり放置することが不適切である状態の空き家（特定空家）について、代執行または略式代執行により撤去することもが可能となった。
 - ・市では特定空家と判断する前に、改善指導を重点に置き、所有者自らの責任において解決を図ることを基本として対応している。

(2) 歴史遺産(資料をもとに生涯学習文化課文化財係長より説明)

- ・歴史遺産を活かすためのヒントとして、福島県南相馬市の事例を紹介。
- ・震災前は地元の遺産や祭りに興味がなかったが、震災後の遺産を失った喪失感から、住民が参画し再建した。
- ・本竜王地区は多くの歴史遺産が残されている(一例として10カ所を紹介)。
- ・現在も県内外から多くの団体が信玄堤を訪れ学習を行っている。
- ・本竜王地区は核となる遺産を持っているので、大人がわが町に誇りを持ち、子どもに見せ伝え、主役として肌で体感させることが大切である。

○ 質疑応答

(1) 空き家・空き地対策について

問) 空家等対策協議会は開催したことがあるか。

Dランク空き家へ積極的に指導してほしい。

空き屋の固定資産税は1/6になるのか。

答) 協議会の開催はまだない。特定空き家になるような案件が発生した場合、または専門家へ意見を求める事例が出た場合に開催する。

Dランクへの対応については近隣の意見を聞きながら地元と協力し対策を行っていきたい。

固定資産税の軽減については、協議会で特例を外すことも可能である。

問) 特定空き家はどのようなものが該当するか。

代執行と略式代執行の違いを詳しく教えてほしい。

答) 特定空き家は協議会で審査し認定したものが該当する。具体的には近隣に被害の恐れがあり危険性があるものが認定される。

代執行は所有者が分かっており指導・勧告・命令に従わない場合、略式代執行は相続放棄がなされた場合に行う。代執行の場合は費用を所有者に費用を請求する。

問) 甲斐市での空き家減少の要因は何か。

防災減災の観点からブロック塀の把握はされているのか。

答) 特に対策はしていないが、売買や転入、取り壊しにより減少した。

一般家庭のブロック塀の安全性については把握できていないが、市の建物耐震診断事業とあわせてブロック塀の診断を行うことができる。また都市計画課では撤去費用へ補助金を出している。

問) 竜王地区で所有者不明や連絡の取れない物件はあるか。

どのランクになれば市として所有者にアプローチするのか。

答) 1件1件について所有者は把握していない。ランクで判断するのではなく、不都合が生じている物件について地元から相談があれば所有者を特定し指導する。

問) Dランクは協議会にかけないのか。

答) 近隣に影響があるような場合は協議会を開き特定空き家に認定することとなる。

(2) 歴史遺産について

問) 道祖神について何の目的でいつ頃建てられたのか。

答) 道祖神は道を守る神様、転じて地域を守るなどの多くの意味を持つ。道祖神信仰が始まった1700年～1800年代の江戸時代には既に置かれていたと考えている。

(その他)

問) 甲斐市には魅力がない。県外から人を呼ぶこと考えて魅力のあるまちづくりしてほしい。

答) 子育て支援やふるさと応援寄付金など努力しながらアピールしている。ご指摘いただいたので再考させてもらい広報をしたいと思う。

○市長よりおみゆきさんの写真紹介

午後8時30分終了